

えんだより

2023年

6月号



NO.207

シャローム三育保育

災害時の対応を確認しましょう。

地震の発生が増えています。東日本大震災の教訓から、様々な地震対策をしていると思いますがご家庭で災害時を想定したシミュレーションをした事がありますか。電気や水道などのライフラインを使わない生活を体験してみると、いろいろな発見があります。特に子どもは大人のようにはいきませんので工夫が必要だったりします。災害が起きたらスマホで「検索」という事も出来ないかもしれません。様々な場面を想定して集合場所や連絡方法など事前に確認しておきましょう。

園長 村上 渉



避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 懇談会・保育参観 (3.4.5歳児)	3
4	5 礼拝 英語教室	6 体操教室	7	8	9 尿検査(4歳児)	10
11	12 礼拝 英語教室	13 体操教室	14 避難訓練	15	16 懇談会・保育参観 (0.1.2歳児)	17
18	19 礼拝 英語教室	20 体操教室	21	22	23	24
24	26 礼拝	27 体操教室	28 誕生会	29 歯科健診	30 保育園職員会	



「忠告は秘かに、賞賛は公に」

古代ローマの喜劇作家の言葉です。8年ほど前にある子育て関連の冊子で目にしました。注意するときはこっそりと、良い事したらおおっぴらに誉めるとい事でしょうか。子どもの育て方は、親御さんそれぞれの考え方があると思いますが、子どもであっても人格をもった一人の人間です。大きな声で叱られれば素直に「ごめんなさい」も言えなくなりますし、気持ちの切り替えも難しくなります。子どもはいつでも「自分が一番」です。子どもの自尊心を傷つけてしまうような関わり方は、本来伝えたい事が十分に伝わりません。伝わらないという事は同じことを繰り返してしまうという事です。大事な事がちゃんと伝わるように、スキンシップを取りながら静かに言い聞かせる事や、その場を離れて落ち着いて話ができるような場所に移るなど、子どもの「気持ち」への配慮も必要です。

とはいえ危険を伴うような緊急の場合では、厳しくなることも仕方ありませんが、後でゆっくり子どもの話も聞いてフォローする事を忘れないようにしてください。謝ることが出来たときや、約束が守れた時はしっかり褒めてあげてくださいね。

子どもの心は未発達です。イヤイヤもグズグズも表現方法のひとつです。ちょっとだけこどもの気持ちを想像しながら、関わり方を考えてみてください。日常生活の何気ないやり取りの積み重ねが、子どもたちの心と体の成長の糧になっています。褒められることが増えて自信がつけば、きっと注意されることが減っていきます。

子どもの気持ちを上手にくみ取って、お互いにハッピーになりましょう。

園長

